



海のたより



理事長杯ヨットレース
優勝アルミス、スモール優勝ハニービー

目次	行事予定
表紙 第17回理事長杯ヨットレース	9月19日 佐久島レース (早朝)
P 2 アルミス優勝記	9月26日 9月スモールクルーザーレース
P 3 ハニービー優勝記	10月10日 デニスコナーカップ
P 4 理事長杯レース成績表	10月10.16.17日 J S A F チャンピオンシップ
P 5 スナメリレポート	10月24日 三河湾合同レース
P 6 ホーネット回航記	

MCC海のたより9月号・MCC海のたより9月号・MCC海のたより9月号

理事長杯（MCCレース）優勝記

アルミス KI

今年の夏は太平洋高気圧の勢力が強く、全国で猛暑に見舞われ 30 年に一度の異常気象といわれ、8 月も終わりと言うのに今日も暑い。アルミスはどこの艇よりも早く集合した。その訳は 7・8 月だけはファーラージブとブームにフルバテンメインを常時艦装してクルージング使用にしていた、そのため、理事長杯（MCCレース）に向けてレース仕様に戻すため早めの集合時間になった。（今年は梅雨明けの翌日に艦装し、その日の午後から安乗に 1 泊 2 日でクルージングした。残念ながらアルミスのクルージングは 1 回で終わってしまいました）

コースはハーバー沖を 11 時にスタート、帆走区域ブイを反時計回りで回航、マークを反時計回りで回航、帆走区域ブイを時計回りで回航、フィニッシュする簡単なコースであった。出場艇は理事長杯 14 艇、（MCC レース 7 艇 スモールレース 7 艇）久しぶりに賑やかなレースになった。

今回のレースメンバーはホーネットから高橋氏、ゲスト 1 名、アルミス 5 名、体験乗船の 10 代のピチピチの女性 2 名、天気予報で風が弱いのが気になるが 9 名での出場となった。

南の風 3～4m、アルミスの苦手な弱い風、東への風の振れを見てマーク側が有利を判断、スタートラインを流しマークをぎりぎりまで近づき絶好のポジションからジャストスタートする、上り角度も艇速もまずまず、しばらく左海面に向かった後、ポートタックで他艇の前を気持ちよく走り大島沖でタック、帆走区域ブイに向かう。帆走区域ブイ付近で風の振れがあったのか？目測を誤ったのか？回航できず痛いミス、2 タックでトップ回航しスピンUPする。続いてダンシングビーンズも回航する。風が弱い、船が重いため微風のフリーが一番の苦手なのに 9 名乗っている！！やはりダンシングビーンズがどんどん近づいてくる。マークに向かってジャイブする時点で横に並ぶ、絶体絶命と思っていたらダンシングビーンズにトラブル、僅差でマークをトップ回航し帆走区域ブイに向かう。その後はダンシングビーンズを引き離し帆走区域ブイ回航、そのままファーストホーム。

高いレーティングで優勝は無理かと思っていたが、久しぶりに優勝させて頂きました。

MCC レースも後半戦が始まりましたが、アルミスは上位入賞を目標に頑張っていきたいと思います。

ハーバーの皆さん、楽しいレースを有難うございました。



MCC海のたより9月号・MCC海のたより9月号・MCC海のたより9月号



~~~~夏バテ吹っ飛びました!~~~~

Honey Bee の石倉ユキです。初レポートさせていただきます。
 スモールレースも後半戦に入り、このまま順調に行けばもしかして？
 好成绩の可能性がチラチラ見えてきているので張り切っております。
 前日に船底掃除をし、今シーズンから登場のNEW メイン&ジブセール
 との 意気も合ってきて、三戸・正木・石倉と、ゲスト2名の計5名で
 参戦！

本部船は海陽ヨットハーバーの船で、表彰式まで沢山のスタッフの方
 に 運営して頂き有難うございました。

スタート前、風は強くも弱くも無く程良い感じで、本部船側よりスタート しましたが、MCC 合同の為、小さい
 私達のヨットは、30ft クラスの艇に 風を奪われる事もあり、タックして右海面へ行きました。

すると現在、総合成績で競い合っているAYAさんも同進路を 走っている事に気付き、緊張意識が高まりました。

第1マーク後、スピニアップ。微風の中、何とか前進するも、ここでも
 30ft クラスの艇に風を奪われる羽目に...

ジャイブ2回して、第2マークを周り、ジブで第3マークへ。
 マーク回航後、再びスピニアップ。

この最終レグは微風が続き、コース取りとスピントリムで踏ん張りまし
 た。最後は風に合わせながらトリムして、ゴールラインを切りました。
 今回のレースは、大きなミスが無いレースだったと思います。
 なので順位を期待しつつ、AYAさんとの差が気になり表彰式へ。
 何と、スモールで1位だったのでビックリしました!!!



今回ゲスト2名は、少しセーリングワークを知っている方だったので
 ただ乗ってもらうだけでなくポジションに付いて頂き、大助かりでした。
 そういった意味もあり、一緒にレース参加をして楽しみ、1位獲得という 気持ち良さを一緒に感じてもらえた
 と思います。 また参加して頂けたら嬉しいです。

残り3レースです。Honey Bee 頑張りますので、これからも アドバイスを宜しくお願いします。

		合計		4月		5月		6月		7月		8月	
		得点	順位	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点
ハニービー	YAM23	37.75	1	4	7	1	10.25		0	1	10.25	1	10.25
あや	YAM21S	37.25	2	2	9	1	10.25		0	2	9	2	9
バイキング	X79	31	3	3	8	3	8		0	3	8	4	7
ホープ	YAM21C	25.25	4	1	10.25				0	4	7	3	8
メーベ	YAM23	0							0				
リトルインディー	YAM21R&C	0							0				



MCC海のたより9月号・MCC海のたより9月号・MCC海のたより9月号

第17回理事長杯ヨットレース

毎年8月の最終日曜日に開催される理事長杯レース
 例年になく暑い日、午後になれば南風が強くなるはずなのに
 ますます弱くなる風、結果先行艇有利のうちにレースは終わった



第17回 理事長杯ヨットレース成績表

主催: (財)愛知県都市整備協会			開催日: 10.8.29(日)								
コース			S →帆走区域ブイ→マーク2→帆走区域ブイ→F								
			所要時間				修正時間	総合	スモール	MCC	SCR
着順	艇名	TYPE	時	分	秒	A	MRC*A	順位	順位		
1	アルミス5	JV9.6	1	43	3	6173	6303	1		1	
2	ダンシングビーンズⅢ	SEAM31	1	47	40	6450	6553	2		2	
4	オデッセイ	IMS950	1	52	53	6768	6633	3		3	
8	ハニービー	Y-23	2	12	0	7920	6684	4	1		1
10	あや	Y-21S	2	15	57	8157	6705	5	2		2
3	セレスティーン	SEAM31-II	1	50	31	6621	6734	6		4	
5	うらなみⅣ	J92	1	54	53	6893	6810	7		5	
7	ベベ3	パイオニア9	2	8	27	7707	7044	8		6	
11	ホープ	Y-21C	2	24	46	8686	7096	9	3		3
9	バイキング	X-79	2	15	38	8138	7202	10	4		4
6	ルートリス	Slot31	2	5	55	7545	7485	11		7	
12	すなめり	FARR727	2	31	13	9073	7812	12	5		
DNF	ドンキー	Y-21C					DNF	13	6		
DNF	SEXY YOU-Jr	Y-21S					DNF	13	6		

MCC海のたより9月号・MCC海のたより9月号・MCC海のたより9月号



今年も沢山のスナメリに会えました。
老若男女いろいろな人に体験いただきました。
ヨットには機走でも近くまで寄って
かわいい顔を見せてくれます。
皆さん、すごーい！かわいい！
と感激いただきました。

スナメリ
ウォッチング



ホーネット回航記

中村

3月に33Sを手放して次艇を探していましたが、ようやくまとまり9月5日海陽ハーバーに入りました。シーム31、6号艇です。

8月30日三戸さんに送ってもらい15時前に新西宮ハーバーへ、メンバーは中村、鳥居、石原の3名

荷物の整理と機走チェック、買出しをしてヨットで夕食、当初は早朝出発の予定であったが友が島水道の潮が悪く深夜出発に変更した。

23時出港、神戸の街、夜景がきれい、大阪湾を南下和歌山寄りの加太の瀬戸を目指す。遠くに明石大橋の灯かりが見えている、関空に入りする飛行機も見える。4時過ぎ瀬戸に近づくがまだ暗い、潮は追い潮しだいで対地スピードがあがる。暗い中を対向船が来る、我々は追い潮10Kで機帆走。

朝焼け時には和歌山沖である。その後日の岬を越え田辺湾、14時半白浜の綱不知港に入る。温泉につかり一息、冷たいビールと干物で・・・鳥居さんはここでお別れ、16時の特急で帰宅

1日7時、綱不知を出港、田辺湾入り口の暗礁を大回りで避けて白浜沖へ、千畳敷沖、椿沖逆潮につかまり3K最悪2Kにも、スピードが上がらない、風も向かい風、イライラが続く、日置沖、周参見沖。周参見を過ぎたあたりから潮の影響が無くなる。



強い日差しの下、紀伊水道を南下する

3日4時半起床、Mさんの漁を手伝う。今日は大漁で氷が不足してしまうほど、いわしが大漁、今までの手伝いは適当であったが、今回は違う、魚が多すぎる、たもですくう作業も手伝ったし最後は処分の魚も。6時半、市場で仕分けの手伝い。量が多いのに潮が低く岸壁に上げる作業も大変だった。かつお、たい、さば等をお土産にいただき朝食は魚のオンパレード、刺身をたらふくいただいた。

9時出港、今日も向かい風である。まもなく南にふれ一本で五箇所湾を目指し機帆走。15時、ビープルに入港、陽が高くしばし休憩。夕食はハガツオの刺身と煮魚、食が進む。

4日、朝シャンをして朝食、半身を刺身で食が進む。今日は大王で昼食の予定、8時半に出港し11時半に波切港に入港、田中料理店でかつお茶漬けをいただく。何度食べても良い味、値打ちである。帰りにお土産の干物を仕入れ12時半には出港、最終レグに入った。南の追い風に乗って伊良湖水道を目指す。順調に機帆走、18時半前、旧ハーバーに係留できた。

遠くに台風がいたが影響も無く、日差しは強く真夏そのものだったが楽しい航海ができました。



新西宮ハーバーにて

潮岬に近づくにつれスピードが上がリ10Kに、14時過ぎ潮岬を通過、南の風の予定が東に振れている。異常な波が立つ中を一度沖だし、タックして大島樫野崎を目指す。30分間は10Kを維持していた。

17時勝浦に入港、温泉のあと今日は外食、居酒屋へ、まぐる井でまとめ腹いっぱい。

2日9時出港、今日は北東の風、またも向かい風である。新宮、鶴殿港沖、七里御浜、熊野沖を海岸の白波が見える距離で通過、二木島の盾が崎を見学し三木崎を通過、15時には九鬼港に着けた。旧知のMさんにカワハギをいただき夕食に、夕方には伊勢海老の差し入れもあり大ごちそうに。21時半、岡崎から高橋がJRで到着。海老の刺身と海老汁で酒盛りをして就寝。



左からエビ刺、エビ汁、カワハギ



煮付けとハガツオの刺身(半身)

MCC海のたより9月号・MCC海のたより9月号・MCC海のたより9月号